

あったか  な 人と心が きづくまち

<畑 山>

〇●〇 畑 山 〇●〇

畑山地区は、清流安芸川の上流に位置する山と川と自然にいだかれた尾川・畑山・栃ノ木の集落から成る閑静な地域です。

この地区では過疎化・高齢化により、地域機能の維持が困難になってきつつありますが、柚子や土佐ジローなどの特産品があり、畑山では宿泊型交流施設を活用した、豊かな自然と地元食材を生かした畑山創作の里づくりに取り組んでいます。



★ 畑山地区の人口・地域福祉資源の概況 ★

世帯数	人口	65歳以上				介護認定者	障害者	子ども
		高齢者数	高齢化率	独居	世帯			
132 世帯	243 人	130 人	53.5 %	50 世帯	13 世帯	28 人	33 人	7 人

社会資源	主な公共施設	公共施設	畑山公民館 栃ノ木公民館	集会所	栃ノ木東地
			学 校	旧畑山小学校（クリエイティブシャトル畑山）	
	福祉・保健・医療・施設等		畑山温泉憩いの家		

★ 畑山地区のいいところ ★

- 畑山温泉は、土佐ジローなど地元の食材を使ったおいしい料理でお客様をもてなしています。（他の市町村からも人がたくさん来てほしい。）
- 安芸川がゆるやかに流れる栃ノ木地区では、夏には川遊びでにぎわいます。
- はたやま夢楽（むら）実行委員会で、地域の行事を企画しています。（草刈や遊歩道の整備など）
- 畑山小学校に図書館を整備しています。（たくさんの蔵書と静かな環境の中で、読書を楽しむことができます。）
- 昔ながらのつながりがあり、隣近所で助け合って生活しています。

★ 畑山地区の気になること ★



であい～拠点～

- からだの動ける人は、みんな年をとっても働いていて、集まる機会がない。
- 後継者がいない。
- 過疎化と高齢化が地区で進みすぎて、いろいろなことができなくなってきた。

- 職員宿舎の跡地を交流施設として整備しているのですが、なんらかの活用はできないか。
- 栃ノ木地区社協の後継者がいないので、今いる人材で継続できる範囲のことはしていくつもり。
- 「昔ながらの支え合いの気持ち」は、地域住民が持っているし、大切にしている。

ふれあい～共生～

- 集落が点在しているので、あいさつや声かけ、見守りも最低限のことだけ。
- みんなが高齢のため、お互いの状況を把握しにくくなっているのも事実。
- 何をしようにも、リーダーになってくれる人がいない。
- 買い物は、行商を利用している。（元気な人は自家用車でまちへ買い物に行く。）
- 郵便局がなく、お金の入金や引き出しも困る。

- ミニデイサービスは、栃ノ木・畑山地域で行っているが、参加する人が限られている。
- 集まる機会があっても、公民館などに参加する移動手段のことも考えていかなければならない。
- 公民館周辺の掃除や花壇の植えかえ、整備など自分たちでできることはする。
- 元気バスは残してほしい。唯一の移動手段です。

かたりあい～協働～

- 後継者不足から、民生児童委員のなり手や、地区の役員などがいなくなった。
- ミニデイの参加者も減りつつあり、出てこれなくなる人が増えた。
- 何事にも地域住民の関心が低くなってきている。

- 今後、民生児童委員のみでは見守りもできなくなることが予想されるので、他の地域からの応援など、手を借りる仕組みづくりが必要。
- 交流できる仕組みづくりをしたい。

ささえあい～共助～

- 携帯電話が繋がらない地域があり、防災・防犯の面で不安である。
- 有事の時に助け合う仕組みがない。
- 防災無線などいざという時の情報の把握はどうするのか。

- 国や県、民間の制度を活用して、畑山地域全体を助けてほしい。（具体的な施策を説明してほしい。地域振興制度も利用して、何とか集落の維持はできないか。）
- 緊急時の連絡については、今後考えていきたい。

★ 畑山地区で取り組んでいくこと ★



1. 出会いのための人づくり・場所づくり

項目	事業・取り組み		
	短期（1年）	中期（3年）	長期（5年）
あったかふれあいセンターのサテライトを実施	畑山（尾川地域）地区での集まりの機会を作る。	サテライトが継続的に行えるよう参加しやすい環境を整える。（送迎や開催時間帯などの工夫）	→
障害者・高齢者の集い活動の実施	現在取り組んでいるミニデイサービス等を継続して実施し、地域外の活動する団体との交流の機会を持つ。		→

2. 認め合い・理解し合える意識づくり

項目	事業・取り組み		
	短期（1年）	中期（3年）	長期（5年）
小単位での仲間づくり活動の推進	地域と外部をつなげる事務局的役割を持つ人材の育成を図る。（地域人材の育成） NPOの組織化に向けた取り組みの促進		畑山地区の後継者を育てる。

3. 暮らしを支える福祉のネットワークづくり

項目	事業・取り組み		
	短期（1年）	中期（3年）	長期（5年）
地域性に応じた地区社協機能の強化（柄ノ木） 地区社協活動の継続	敬老会の開催、ふれあいサロン活動など、地元ならではの活動の継続を図る。		→

4. 地域で安心・安全に暮らしていくための体制づくり

項目	事業・取り組み		
	短期（1年）	中期（3年）	長期（5年）
高齢者等見守りネットワーク活動の促進	一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の把握を行う。	公民館等の協力を得て、個別の日常生活の実態把握に取り組む。	見守り・助けあいが日常の見守りネットワークづくりに取り組む。